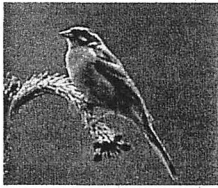


# 分断化による森林面積の減少が果実の質に及ぼす影響

## Effect of fragmentation of forests on the quality of fruits



環境動態講座 1 年 Environmental dynamics 1<sup>st</sup> year

田中 美那 Tanaka, Mina

主任指導教員 田崎 和江 Tazaki, Kazue

### はじめに

現在の日本では、森林面積すなわち緑に覆われている面積が国土の七割を占めている。近年、その森林が道路の建設や村落の開発といった人為的な要因によって分けられ、一つ一つの森林面積が小さくなるといった現象が起きている。

この現象は森林の「分断化」と呼ばれており、金沢大学角間キャンパスの東に位置する金沢市俵町の森林も例外ではなく、近年になって分断化がすすんでいる。(写真1、2)

本研究では、森林に生息する多くの樹木のうち、鳥が食べる果実をつける樹木を対象とし、森林面積の違いが果実の質および量にどういった影響を与えるか、また、樹木の生育している土壌成分に違いはみられるのか、ということに着目して調査を行なった。

### 研究方法

調査地は、金沢市俵町の、分断化された森林(面積約0.6~2ha)のうち8つおよび、対照区として大学の西一帯に位置する面積の大きい森林(約60ha)の合計9サイトとした。

本研究では、9つの森林から表1にあげた樹木1種につき5本の樹木を選び、それらの樹木から果実を採取して果実の量と質を評価するために、果実のサイズ・栄養成分・元素成分を測定する。また、各森林から土壌を採取して土壌成分を調査する。

表1. 調査樹木

調査樹木	
ガマズミ	コマユミ
クマノミズキ	タンナサワフタギ
クロモジ	アズキナシ
コバノガマズミ	ナナカマド
ミズキ	イヌツゲ
ミヤマガマズミ	ヒサカキ
アオハダ	ムラサキシキブ
ナツハゼ	コシアブラ
	ソヨゴ

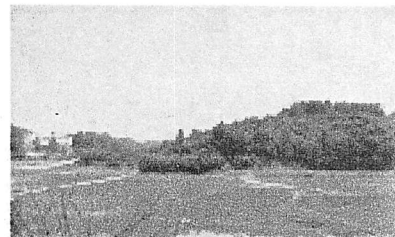


写真1. 金沢市俵町の風景



写真2. 金沢市俵町の航空写真